

戸枝大幸議員の代表質問要旨(11月定例区議会)



第6波の医療難民ゼロの実現に向けて



戸枝議員 コロナウイルス感染症の第6波に備えて、北区においても「医療難民ゼロ」の実現に向けて取り組むべき。病床の確保をはじめとした医療体制と保健所人員体制の充実を求める。

区長 感染状況に応じた迅速・柔軟な職員応援体制を整備し、保健所体制の強化を図る。また、都が病床や宿泊療養施設の拡充等を行っており、区は健康観察等の体制強化に取り組む。

戸枝議員 自宅療養者に対して、抗体カクテルや経口薬の手配等、安心して医療サービスが受けられる体制の確保や、健康観察と生活支援を安心して受けられることを求める。

区長 地域包括ケアシステムを活用した医療体制の強化と共に、中和抗体薬療法の実施により在宅療養者を迅速・的確に支援する。また、迅速な食料調達等により支援体制を構築する。

戸枝議員 区におけるコロナワクチン接種3回目の接種計画の早期策定と迅速な実施を求める。

区長 ワクチン接種センター等の三類型の会場で接種を進める。2回目の接種から概ね8か月を経過した方から順次接種を行っていく。

北区基本構想について

戸枝議員 「北区基本構想」を硬直的に捉えるのではなく、今後の人口動態や外部環境の変化の可能性を踏まえ、柔軟な対応策を検討し、具体的な対応を行う必要があると考えるが、見解は。

区長 施策については基本計画で見直せるよう役割を変更し、新たに定める基本構想は、区政運営の根本を貫く理念、区が目指すべき将来像の実現に向けた目標を示すものとしていく。

ICT教育による業務の効率化について

戸枝議員 ICTにより生活をより良い方向に変化させるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みは、可能な事業から順次導入し業務の効率化を早急に進めるべきと考えるが、見解は。

区長 保育園入園業務等で、ICTによる業務の効率化が見込まれる場合は本格導入を図る。オンライン申請の導入等も順次進めるなど、今後とも全庁一丸となってデジタル化を進める。

戸枝議員 GIGAスクールの推進に合わせて、教育のデジタル化を柱に据えるよう、早急に北区教育ビジョンの修正を行うべき。

区長 新たな教育ビジョン策定の際は「全ての子どもたちの可能性を引き

出す個別最適な学びと協働的な学びによる令和の日本型学校教育の実現」を目指す方針を示せるよう検討する。

戸枝議員 学校改築やリノベーション事業計画は、「子どもたちの約束」でもある。安易な先送りや延期をすることなく、今後の計画事業を着実に執行することを求める。

区長 今後も学校改築等の需要が高水準で続く為、特定財源の確保や基金と起債の計画的な活用が不可欠である。引続き、学校改築等基金への着実な積立てを行い計画的に事業を推進する。

戸枝議員 震災発生時等に、鉄道インフラが機能しない事態に備え、区内におけるシェアサイクルポートの整備等に積極的に取り組むべき。

区長 既存の自転車駐車場の活用について、事業者、指定管理者と検討し、シェアサイクルが一層有効に機能するよう積極的に協議していく。

渋沢栄一プロジェクトについて

戸枝議員 NHK大河ドラマ「青天を衝け」放送終了後の渋沢栄一プロジェクトについて、2024年の新紙幣発行までの間の検討状況について問う。

区長 大河ドラマ館がもたらした理念等をしガシーとして確立する。新紙幣発行に向け、渋沢栄一プロジェクトを推進し、区の魅力を高める。

渡辺かつひろ議員の一般質問要旨(11月定例区議会)

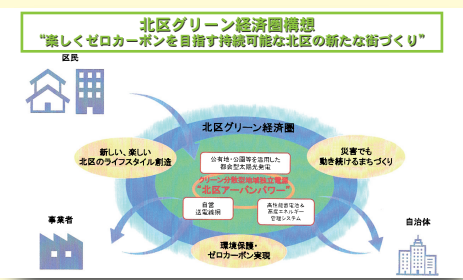


渡辺議員 ゼロカーボンシティ宣言を実現するための「北区グリーン経済圏構想」について。また、実現に向けての具体的な施策「シブサワコイン」の発行で意識醸成と経済活性化を。

区長 ご提案の公有地・公園等を活用した都市型太陽光発電の導入や自営送電線網の構築などはゼロカーボンシティの実現に止まらず、災害時などにおける電力供給の手段の一つとしても有効であると考えている。また、「シブサワコイン」は子供達を含め事業者や多くの方が脱炭素社会の実現に向けた取り組みになり、コミュニケーションの一助や区内産業の活性化にも繋がると認識している。一方その実現には、財源や期間など様々な課題もある。今後の環境施策がまちづくりや防災をはじめ、様々な取り組みに連動できるよう、施策立案の参考とします。

渡辺議員 公共工事における公益性担保、区内支店事業者に対する実態把握について。

区長 区内事業者(区内本店)・準区内事業者(区内に支店、営業所などを置く)・区外事業者の三つに区分し競争入札参加資格の継続申請の際に、準区内事業者認定基準に基づき実態調査を行なっているが、十分でない指摘もあり、外部委託を含め検討を深めます。



坂場まさたけ議員の一般質問要旨(11月定例区議会)



坂場議員 志の原点である深谷と偉業の拠点となった東京北区を結ぶことで渋沢栄一翁をより深く学び感じとることができるのではないかと思います。今後の深谷との交流および連携をどのように考えていますか？

区長 渋沢翁の顕彰を中心とした連携とともに、スポーツをはじめとする新たな分野での交流など、区民・地域が主体となった交流が進むような仕掛けづくりを工夫し、渋沢翁を縁とした北区と深谷市の連携を深めてまいります。

坂場議員 環境美化やごみ排出における意識レベル向上の観点から、戸別収集を実施していない地域で戸別収集の要望を耳にします。北区資源循環推進審議会での議論を踏まえ、既に実施している戸別収集で積み重ねられた知見と費用対効果の検証を行いつつ、ゼロカーボンシティ宣言をした北区として、資源循環型社会の実現に向けてその方向性を明確にし、区民としっかり共有しながら進めていって頂きたいと思ひます。

区長 戸別収集の地域拡大については、区民ニーズや費用対効果等、北区の現状を踏まえた慎重な検討が必要だと考えます。ごみの減量化と有効利用を更に進める観点から当審議会での議論を踏まえ、総合的な観点から検討してまいります。

子育て世帯への臨時特別給付金に係る要望書

自民党議員団が花川区長に提出

昨年12月15日、国の経済対策を受けて、北区においても先の第4回定例会にて補正予算を可決し、年内に対象世帯の児童1人あたり5万円の先行給付を決定、そして区民から寄せられた要望を受け、残り5万円の給付についても現金による支給とし、年内もしくは可能な限り速やかに給付することを求める要望書を区長に提出しました。



<榎本一議員の辞職について>

昨年11月10日に榎本一議員が覚醒剤取締法違反罪(使用)の疑いで逮捕され、11月30日に起訴されたことが確認されました。この事実を受け、自民党議員団といたしましては、同日付で同議員を会派除名処分といたしました。自民党北区総支部においても同日、同議員に対する厳正な処分を党都連に上申し、12月6日に党都連は除名処分を決定通知しました。事件の重大性と起訴事実を鑑み、議員辞職勧告決議案を議長に提出し、12月3日本会議において議員辞職勧告決議が全会一致で可決されました。本人に辞職を促してまいりましたところ、12月16日に榎本議員本人から辞職願が提出され、受理されました。

今回の事件によってご迷惑をおかけしたことに加え、区議会と区政に対する信頼を著しく失墜させる事態となりましたことは、誠に遺憾であり、区民の皆様並びに関係各位に深くお詫び申し上げます。自民党議員団といたしましても、区民の皆様並びに社会からの信頼を一日も早く回復できるよう、一丸となって職務に精励してまいります。